

The 12<sup>th</sup> Annual Meeting of the Japanese Wrist Surgery Workshop

# 第12回 日本手関節外科ワークショップ

会期 2019年9月14日(土) 会場 奈良春日野国際フォーラム 麓～I・RA・KA～

会長 村田景一 (市立奈良病院 四肢外傷センター センター長)



各位

謹啓

浅春の候、先生方には益々ご清祥にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

さて、第12回日本手関節外科ワークショップを2019年9月14日(土)に奈良市(奈良春日野国際フォーラム 麓～I・RA・KA～)で開催させていただくこととなり、準備を進めております。この度、同学会のチラシを同封させていただきましたので、適当な場所に掲示していただければ幸甚に存じます。

本会は手関節に特化した学会として、同関節の疾患およびその治療のノウハウを学びたいという多くの整形外科医師、理学療法士、作業療法士が、知識、技術を共有することを目標として、学術活動を行って参りました。今回のワークショップでは、エキスパートによる教育講演(ミニレクチャー)として「手関節外科各疾患の現況と将来への展望」、低侵襲手術の可能性と限界について「ディベート：関節鏡視下手術 vs オープン法」、手関節解剖セミナー(マスターによる新知見)、手外科医とハンドセラピストの連携企画として「達人たちに学ぶ橈骨遠位端骨折の治療とセラピー」、そしてコンペティションセッションとして「手関節外科における New Idea」、「難治症例への挑戦」を企画し、アワードも準備する予定です。また、手関節鏡とエコーのハンズオンも例年同様開催を予定しております。

今回のワークショップのキャッチフレーズは「<sup>しんかんしゅびん</sup>心間手敏：心と技術のどちらも習得していること」とさせて頂きました。治療を行う際に重要なことは、患者に対して情熱を持って真摯に対峙し、日々研鑽し習得した診断・治療技術を駆使することです。このワークショップが参加者の皆様にとって最新の知識、技術の習得の一助となり、さらに手関節外科の心(情熱・葛藤・喜び)にも触れて頂き、手関節外科の「道」を極める良い機会となるよう全力で取り組む次第です。多くの先生方のご参加と熱い議論を何卒よろしく願いいたします。また、コンペティションセッションと一般演題の抄録受付期間が2019年3月1日から5月31日となっております。先生方からの多くの演題登録をよろしくお願い申し上げます。また、所属先の手外科に興味の持たれておられる先生方にも、お声をかけていただければ幸甚に存じます。

時節柄、ご自愛お祈りいたしております。

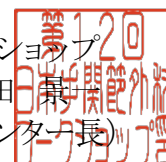
謹白

2019年3月吉日

第12回日本手関節外科ワークショップ

会長 村田景一

(市立奈良病院 四肢外傷センター センター長)



学会事務局  
市立奈良病院 四肢外傷センター内  
〒630-8305 奈良市東紀寺町1-50-1  
Tel: 0742-24-1252 Fax: 0742-22-2478 E-mail: 12thjwsw@nara-jadecom.jp

運営サポート  
インパクト株式会社  
〒630-8014 奈良市四條大路1-3-45  
Tel: 00742-33-6211 Fax: 0742-33-6441 E-mail: 12jwsw@eventworks.jp